

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

Table with 4 main columns: 目標 (Target), 実施する業務の内容 (Business Content), 成果 (評定時に記入) (Achievements (Recorded at Evaluation)), and 達成度 (Degree of Achievement). It contains 5 rows of specific goals and their corresponding actions and results, plus a summary row at the bottom.

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標

Table with 4 columns: 目標 (Target), 実施する業務の内容 (Business Content to be Implemented), 成果 (評価時に記入) (Results (to be recorded at evaluation)), 達成度 (Degree of Achievement). Rows include specific goals like 'セラミックパレ構想の推進' and '経済対策、地域経済の活性化'.

組織名称	経済部 企業誘致課
補職名・氏名	課長 日比野 至

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

目標	課題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
目標1	高田テクノパーク開発事業の推進と進出企業誘致 環境調査・関係機関調整・造成工事の推進 進出優良企業誘致・分譲手続き	1. 高田テクノパークの整備と管理 ①第1期及び第2期テクノパーク、北部連絡道路の年度内完成を目指した工事進捗状況管理（3月末） ②「オーダーメイド」等による宅盤の設計変更に関する工事業者への指示と協議（随時） ③地元や関係企業への説明・良好な関係維持、土岐市との協議、鉱業権に係る中部経産局との調整（通年） ④JR東海との管理協定締結（9月末） ⑤調整池等の管理における関係部署との協議（通年） 2. 企業進出事業の推進 ①第1期及び第2期分譲に係る営業及び売却手続きに関するサポート（随時・3月末） ②第2期テクノパーク進出企業の決定（3月末）	1. ①第1期第2期多治見高田テクノパーク及び土岐多治見北部連絡道路の3月末完成（第1期の第1調整池地盤対策の擁壁設置のみ工期延長予定） ②第1期はJR東海の要望に応じ舗装実施。第2期は乗入の幅等を変更 ③東栄町現地視察（11/8）。周辺住民苦情対応（随時）。鉱山関係者との協議（10/27、11/5） ④管理協定締結後JR東海「ト」使用開始（10月～） ⑤水道、下水道の使用量等に関し水道部と協議 2. ①契約に関する最終協議（10/25）。現地視察（11/2・進出企業20人程度）を実施 ②進出企業を決定し土地売買契約締結（11/1）土地開発公社理事会（2/17）市議会全員協議会（2/18）記者会見（2/18）にて報告及び公表	T1
目標2	工場立地サポートと次期工業団地調査研究 増設等手続き支援による事業の推進 誘致候補地の調査・物件に係る諸問題調整・地元調整	1. 誘致企業の増設等に関する支援 ①上原テクノパーク、長瀬テクノパーク等における増設計画への助言と事業の進捗サポート（通年） ②民間企業の施設増設等に関する助言と指導（通年） ③工場立地法の届出に関する助言・事業所等設置奨励金に該当する企業の指定（3月末・通年） 2. 次期テクノパークの調査・研究 ①候補地となる市有地の抽出と造成等に関する課題の整理（9月末） ②公共施設管理課と施設統合等の情報交換及び跡地利用調査（通年） ③具体的候補地の抽出・検討及び最終候補地の決定（3月末）	1. ①明和工業㈱の工場増設、日本ガソリン㈱の流通倉庫増設に関し開発指導課他との協議に同席し助言。早期着工を支援、実現 ②工場増設や土地取得の相談に対応し、民間企業の設備投資を後押し。企業訪問による要望聴取（2回） ③明和工業㈱、水谷産業㈱に対して工場立地法及び岐阜県補助金について指導・説明。東濃信用金庫に対し事業所等設置奨励金確認説明 2. ①庁内協議にて抽出した候補地について説明 ②統合及び廃止が予定されている市有施設について企業誘致候補地として公共施設管理課と協議実施 ③候補地絞り込み。造成の可能性や道路等の施設について、基礎調査費を令和4年度に予算化	T2
目標3	誘致企業の地域貢献事業支援と地域経済への波及促進 進出企業へのアフターフォローと地域、地元産業との連携強化	1. 各種奨励金による企業サポート ①事業所等設置奨励金の確実・迅速な交付（11社12件） ②雇用促進奨励金の周知と申請手続き支援（15人） ③移住定住促進奨励金による転入促進（3人） 2. 企業からの相談・要望等への支援と協働 ①土地の取得や各種行政的手続きの支援（随時） ②周辺緑地帯等の草刈や清掃等への協力（随時） 3. 地域貢献への協力 ①地元・学校・企業とのマッチング等による地域貢献事業支援と企画提案（トヨタ多治見サービスセンターへの社会見学：アマゾン多治見フルフィルメントセンター青空マーケット・通年） ②地元自治組織等への情報提供・協議（通年）	1. ①全納6社については奨励金交付済。残りの5社も年度内に交付完了 ②見込通り5社15人の雇用があり、奨励金制度の周知と効果により地元雇用を促進 ③移住定住を見据え、制度の周知を徹底 2. ①居抜き物件等の情報を商工会議所等にて収集。事業拡張計画のある企業を紹介 ②三号池ロードの清掃を地元、企業、行政の協働で実施（7月・10月実施） 3. ①養正小学校、共栄小学校によるトヨタ多治見サービスセンター社会見学（11月）。アマゾン青空マーケット等の物販（通年）を実施 ②トヨタ多治見サービスセンターの活用等地域貢献活動支援	T3
目標4	誘致活動の体制整備と適正な事務の執行 企業進出意欲を増進させる体制づくりと積極的なPR活動、迅速な事業遂行とレスポンス	1. 誘致活動の体制整備 ①プロジェクト会議開催と企業ニーズへの迅速誠実な対応 ②企業誘致促進協議会参加及び活動での展示会等へ出展やメディアを使ったPR活動実施 2. 誘致PRの推進及び事務の適正な執行 ①パンフレット配布やホームページ等による営業活動推進 ②進出企業への市民雇用、従業員の市内定住を促進するため企業への積極的な優遇制度を周知 ③雇用情報、不動産情報等の収集・整理に努め、企業に対して魅力溢れる情報発信 ④5S+Sの適正実施による多治見市の良さを強調	1. ①第2期多治見高田テクノパーク分譲に関するプロジェクト会議開催（1/31）。開発申請等他課への要望にフレキシブルに対応 ②メッセコヤ2021に出展（11/10～13）。協議会各市町保有テクノパーク等を企業を中心に広く紹介 2. ①県企業誘致課にパンフレット配置。メッセコヤでのパンフレット配布等による営業活動実施 ②年度初めや年始の企業訪問時を中心に支援制度を説明。申請時の記入方法についても丁寧にサポート ③ハローワークからの情報を元に雇用状況を把握。求人活動をしている企業の要望を収集し適した方法で対応 ④アフターフォロー日本一を掲げ積極的に企業訪問を実施。きめ細やかなサポートを約束	T3
目標5				
b	独自目標加算（任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動等	（目標設定）	（成果）	

組織名称	経済部 陶磁器意匠研究所
補職名・氏名	副所長・前田剛

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標

目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
目標1 迅速かつ高度に対応するためのデザイン支援の強化 3Dプリンター、3Dスキャナー、3DCAD等を活用したデザイン支援の実施	1. 3Dスキャナー等を活用したデザイン支援 ①陶工組連携3Dスキャナー活用促進研究会の実施 ②岐阜県石膏型工業協同組合多治見支部連携3Dスキャナー活用促進及び造形技術向上研究会の実施 ③造形技術者育成の3DCAD講習会開催（3回以上） ④3DCADデータ作成等のデザイン支援業務の受託 2. 陶磁器製品開発への女性や若手人材の参画支援（市之倉、高田での「多治見・陶・小町」立ち上げ） 3. 市の事業への積極的なデザイン支援と助言	1. ①②は新春見本市で成果発表 ①高田・市之倉・滝呂工組10社との3Dスキャナー活用研究会では、実物のエルの皮や小枝をスキャンし「陶磁器製わさびおろし」や照明器具を試作。既存製品をスキャンしデータ化、リサイズ、リデザインへの展開を検証。笠原タイル関係12社とは、葉脈レリーフのタイルへの転用や樹皮模様の湿式ローテ成形への転用を試作 ②石膏型組合9社とは、スキャン精度の確認やスキャナーの特性、有効な操作方法について検証 ③4回開催、計7名が受講 ④CADデータ作成65件（うちスキャナー利用36件）、プリンター出力65件 2. 新たな「陶小町」立ち上げに至らなかったが、市之倉・笠原から新たに11名が講習会に参加 3. ラッピングバスなど7件実施	T2
目標2 国際交流の推進による研究生募集強化と人材育成 陶芸家移住定住促進策の拡大や研究生国際交流の推進	1. 研究生の安定確保と研究生国際交流の推進 ①応募者増加へ向けた人材育成事業の見直し ②外国人研究生（セブックスポ）3名以上の確保 ③国内新入研究生15名以上の確保 ④国際交流（中国邛崃市等）の推進 ⑤SNS・ホームページの活用による情報発信強化と研究生募集のデジタル化の推進 2. 修了生等陶芸家移住定住策の推進 ①修了生雇用・定住促進奨励金の運用 ②修了生創作活動支援補助金の運用 ③「陶芸工房バンク」の運用と物件の充実	1. ①実習料等見直しを含む人材育成5事業を見直し。令和4年度に滞在職員研修を計画 ②外国新規3名（中国、台湾、米国）、待機4名（セビ72、中国、カダ）計7名確保 ③一次募集でセブックスポ4名を含む国内15名を確保。二次募集（2/27考査）に向け5名以上を見学対応 ④邛崃博物館美濃焼販売ブースでの出品作品を調整、陶芸家交流に向け調整中。意匠研究所職員が国際陶芸学会（IAC）会員に選出 ⑤ホームページを刷新。インスタでの動画活用等SNS投稿を強化。願書申請デジタル化を情報課と調整 2. ①奨励金交付3件、新たな資格認定4件 ②補助金交付4件。専攻科修了者動向を調査（次年度3名市内居住予定） ③令和3年度新規物件4件、新規登録者14名	T2
目標3 陶磁器フェス開催に合わせた市内陶磁器展示施設との連携強化や意匠ギャラリーを活用した「多治見らしさ」のPR 意匠研究所の市民及び入所希望者への施設開放	①多治見市陶磁器展示施設担当者連絡会議（美濃焼ミュージアム、モザイクタイルミュージアム、ギャラリーヴォイス、文化財保護センター）連携による研究生授業の充実、「やきもの」による「多治見らしさ」の積極的PR ②ishoken galleryでの卒業生展覧会の実施 ③研究生募集につながる卒業制作展、進級制作展、セブックスポ前期制作展等の効果的な開催 ④国際陶磁器フェスと連動した展示やイベントの実施 ⑤公開特別講義や公開ワークショップ開催による市民への美濃焼文化の伝承	①当所本館2F展示室において、文化財保護センターとの共同展示「多治見のやきものvol13高田」（1/29～3/6）を開催。担当学芸員による研究生向け講義（飯茶碗の歴史など）を実施 ②竹内紘三展（10/2-11/7：コロナウイルス感染症まん延のため会期変更）、酒井博司展（1/29-3/6）を開催 ③竹内紘三展の記録動画や陶芸工房バンク展（10/2-11/7）出品作家の作品写真を投稿。卒業制作展の会場を変更し、中心市街地（陶都創造館3Fギャラリーヴォイス）で開催（2/18-3/6） ④国際陶磁器フェスティバル協賛事業として竹内紘三展等所内関連展覧会を開催 ⑤公開特別講義を6回開催。受験志望者向け公開ワークショップはコロナ禍で見送り	T3
目標4 安心・安全な製品づくりのための食器安全対策事業の実施 美濃焼の信頼性や安全性の向上	①食洗機用洗剤による加飾表面への影響検証（アルカリ溶液による実証実験） ②釉薬授業用副読本の作成（原料の役割、組成と貫入の関係） ③釉薬の塩基性成分（煤溶剤）の種類・調合比率が釉の表面性状等に与える影響の研究（次の副読本データ用） ④鉛・カドミウム溶出試験3,000件、スポーリング試験1,800件への安定、迅速対応可能な体制づくり ⑤東濃四試験研究機関技術者担当者会議の開催（依頼・相談業務に係る情報共有） ⑥安心・安全な製品づくりに寄与する欠陥原因・法令等に関する研究生への授業実施	①JIS「ホーンチャイ製食器の洗浄に対する化学的耐久性試験方法」での退色度合いを目視できる資料（無鉛・有鉛・耐酸給具各10色、6種の条件でアルカリ溶液に浸漬）を作成 ②基礎テキストから知識を広げるための副読本「（仮）いろいろな原料（透明釉への添加事例）、三角座標の応用編」を作成 ③第2弾（「（仮）釉薬に含まれる成分と釉性状の関係」令和5年度）に向け資料を作成 ④12月末で溶出試験1,717件、スポーリング試験1,224件実施 ⑤随時、各機関担当とメールで意見聴取。稀に使用される原料や相談に関する対処事案など情報共有 ⑥製品欠陥及びヨーロッパ向け輸出品に課せられる新基準について調査。3月、1年生向け授業を実施	T3
目標5 業界団体等との連携の強化 業界及び関係機関との情報交換を強化	①「デザイン室」や「食器安全対策室」等を活用し、陶磁器関連情報の所内共有 ②東濃四試験研究機関協議会等、関係機関との連携・情報交換を実施し地域課題を所内共有 ③デザイン担当者会議、デザイン見本市の視察等を通じた最新情報の収集 ④地元陶磁器関連団体との良好な関係構築の為の情報共有の推進	①非公開キャビネットを活用。3Dプリンター出力状況など「デザイン室」や「食器安全対策室」の各担当者対応状況について職員間で情報共有 ②コロナ禍のため、東濃四試験研究機関協議会は未開催。他機関担当者からメール等で業務相談等に関する意見・情報を随時収集 ③④デザイン担当者会議はWEB方式で実施（11/30）。その他、美濃焼新作見本市、新春見本市等を通し情報交換。「陶器の日」事業4団体協議会（日本陶磁器工業協同組合連合会、日本陶磁器産業振興協会、TOZIX・ジャパン、日本陶磁器卸商業協同組合連合会）の「やきものハンドブック」制作協力。日本陶磁器卸商業協同組合連合会の「やきものマスター」検定問題を監修	T3
b 独自目標加算 （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等	（目標設定）		

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

Table with 4 main columns: 目標 (Target), 実施する業務の内容 (Business Content), 成果 (評価時に記入) (Results (to be entered at evaluation)), and 達成度 (Degree of Achievement). It contains 5 main target rows (目標1-5) and a summary row (b) at the bottom.